

日本大学理工学部 学生員 金城一也

日本大学理工学部 正 員 福田 敦

日本大学大学院 学生員 関 陽水

1 はじめに

現在、那覇市では中心市街地の衰退が大きな問題となっており、中でも商業の衰退が顕著である。

これに対し那覇市、那覇市商工会議所、通り会等が中心となって種々のイベントを実施し中心市街地活性化に向けた取り組みを行ってきた。これと同時に、平成11年には「那覇市中心市街地活性化基本計画」が策定された。この中では来街者の回遊性を向上させ、街全体に賑わいを持たせることで活性化を図ることが述べられている。

しかしながら、これまで那覇市では中心市街地内における来街者の回遊行動に関する調査は行われておらず、県内居住者と県外居住者の回遊行動の違い等についても明らかになっていない。

そこで本研究では乗用車利用者による来街時の回遊特性に着目しアンケート調査を行い、活性化の評価に向けた回遊特性の現況把握を目的としている。

2 調査概要

2-1 調査場所

調査場所は「平成7・8年度駐車場施設整備に関する基本計画策定調査報告書」に基づき、全11ゾーンから各ゾーンごとに1ヶ所ずつ抽出した。ただし、1つのゾーンでは日曜日に営業を行う駐車場がないために調査を実施することができなかった。このために実際に調査できた駐車場は10ヶ所となった。表-1に各駐車場の詳細を示す。

図-1に今回調査した駐車場を示す。なお、中心市街地は点線で囲まれた地域のこととする。

2-2 調査日時

回遊特性の現況を平日・休日別に把握するために12月2日(日)の11時から18時までと、12月3日(月)の10時から18時までの間調査を行った。

2-3 調査方法

調査方法は、各駐車場に調査員を配置し来街者にア

表-1 駐車場の詳細

駐車場	収容台数	駐車場構造	料金体系(普通車)
A	99	地下	始350円/60分、後100円/30分
B	180	平面	始350円/60分、後100円/30分
C	55	平面	始300円/60分、後150円/30分
D	450	立体	始300円/60分、後150円/30分
E	56	平面	始300円/60分、後100円/30分
F	45	平面	始350円/60分、後100円/60分
G	240	立体(一部平面)	始350円/60分、後150円/30分
H	128	立体	始350円/60分、後100円/30分
I	200	地下	始300円/60分、後150円/30分
J	50	平面	始300円/60分、後100円/60分

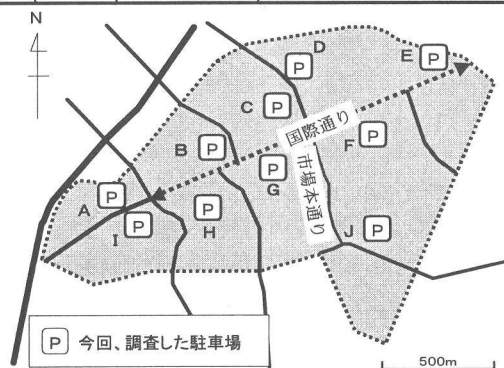


図-1 那覇市中心市街地及び調査した駐車場

ンケート調査と滞在時間調査とした。

アンケート調査は「駐車場選択理由」、「個人属性に関する質問」、「来街特性に関する質問」、「回遊経路」について伺った。

滞在時間調査は被験者の駐車時刻、駐車終了時刻及び駐車料金を駐車場の従業員、または被験者からヒアリング調査を行った。なお、本研究では駐車時間を滞在時間と仮定した。

3 来街者の回遊特性分析

3-1 分析方法

回遊距離は、美濃等¹⁾と同じ手法を用いることで導き出した。累加構成比と回遊距離の関係より累加曲線を引き、その80パーセンタイル値を回遊距離とした。これを県内居住者及び県外居住者で比較し、それぞれの回遊特性を把握した。

キーワード 中心市街地活性化、回遊行動、買物行動

連絡先 〒274-8501 千葉県船橋市習志野台7-24-1 Tel/Fax. 047-469-5355

3-2 分析結果

累加曲線図より県内居住者の回遊距離は741.5m、県外居住者は1793.2mとなった。各ゾーンごとの回遊距離を図-3に示す。これらより、県内及び県外居住者で大きな違いが見られることが明らかになった。

図-4・5は被験者の回遊経路を示したもので、県内居住者と県外居住者によって分けた。

(1) 県内居住者の回遊特性

県内居住者の多くが目的地付近及び付設の駐車場に駐車していることから回遊距離が短くなっていると考えられる。また、これは被験者の63.8%が「目的地に近いから」を駐車場の選択理由としていることから分かる。県内居住者は明確な店舗を決めて来街しているために回遊距離及び滞在時間が短くなっている。

(2) 県外居住者の回遊特性

県外居住者は観光もしくは観光を兼ねた買物を目的としているために回遊距離が長くなっていると考えられる。

県外居住者はアンケートでは「目的地を決めて来街した」が75.3%となっている。しかし来街者が国際通りを訪れる割合は、県内居住者が38.0%、県外居住者が83.6%となっており、県内居住者の回遊が県内居住者と比べて国際通りに集中している。また、図-4の被験者の回遊を見た場合に県外居住者が県内居住者より国際通り周辺に集中していることが分かる。

4 おわりに

本研究では、アンケート調査を行い那覇市中心市街地における買物来街者の回遊特性を把握することができ、県内居住者の回遊距離が県外居住者と比較して極端に短いことが分かった。

県内居住者は中心市街地に対して十分な知識を持っていることと駐車料金が低いことにより、目的地に近い駐車場を的確に選択し買物を短時間で済ませている実態を把握することができた。対症的に、県外居住者は国際通り周辺をある程度回遊している実態を明らかにすることができた。

謝辞

アンケート調査にご協力を頂いた那覇市役所経済文化部 商工振興課、各駐車場関係者に厚くお礼申し上げます。

参考文献

- 1) 美濃・安田：大規模商業集積地区における駐車場利用者の行動特性分析、土木学会第56回年次学術講演会概要集 Vol.56 IV-150、pp.300-301、2001.

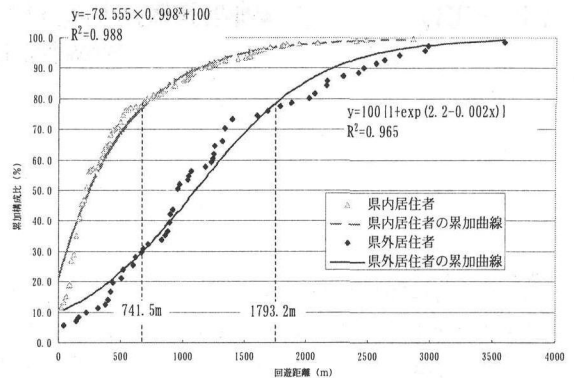


図-2 回遊距離の累加構成比

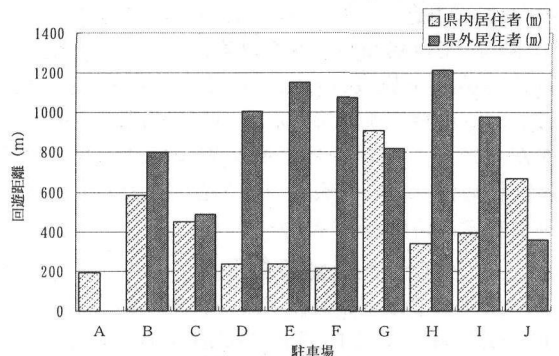


図-3 各駐車場の回遊距離 (80%タイル値)

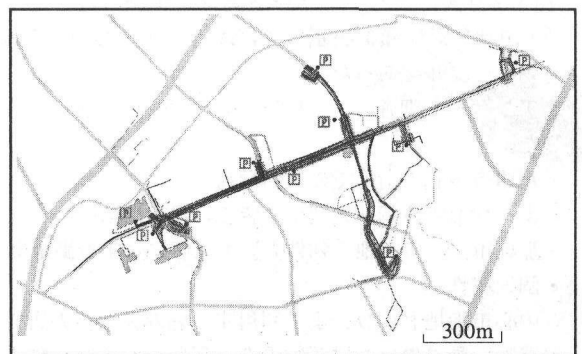


図-4 全県内居住者の回遊

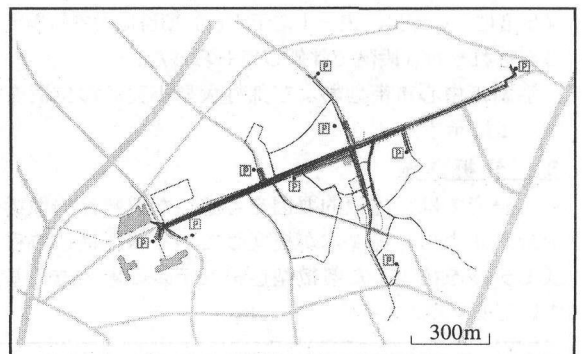


図-5 全県外居住者の回遊